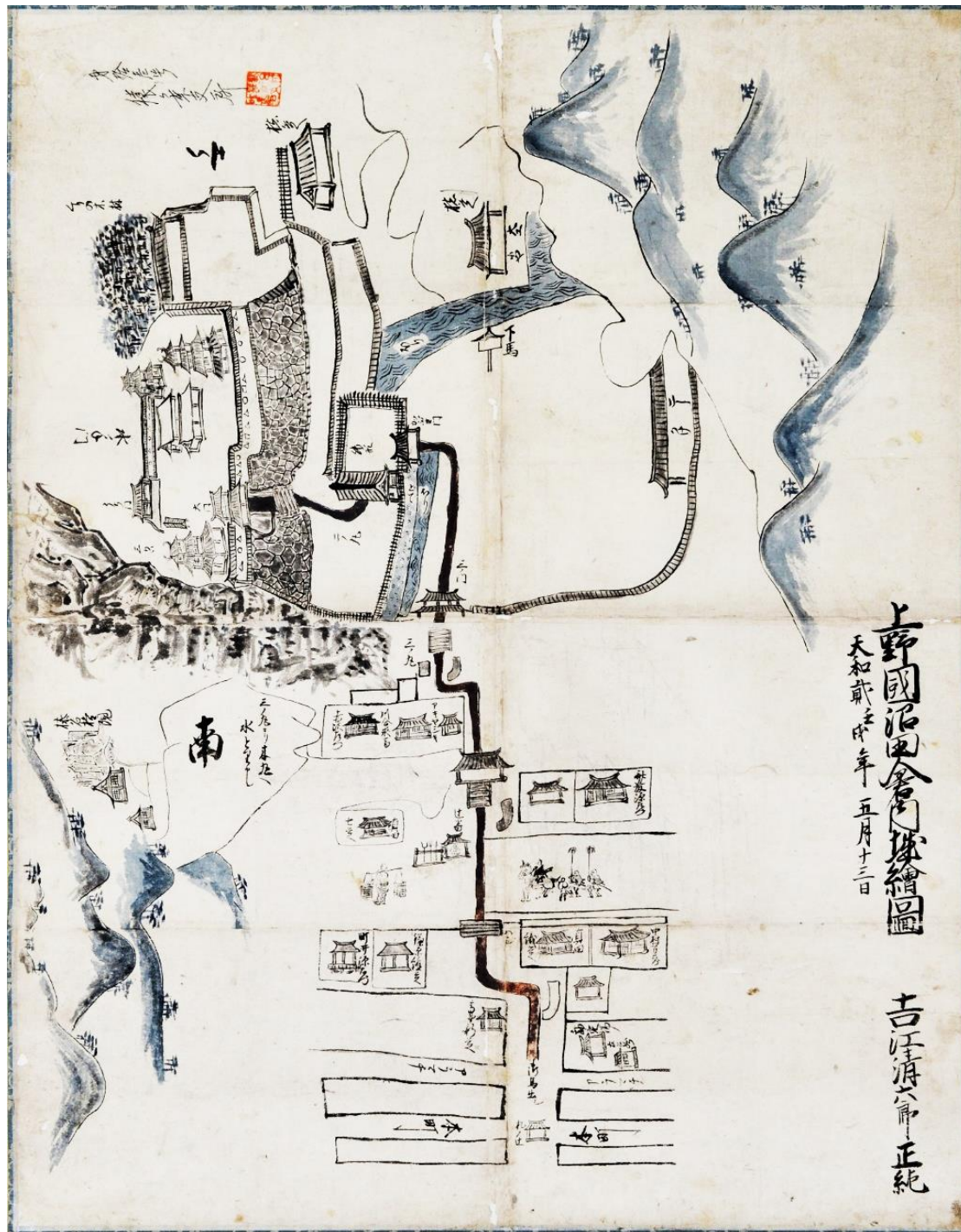




上野国沼田倉内城絵図

天和2年(1682)／原寸：65.5 cm×50.5 cm

吉江清六郎正純が天和2年5月に描いた絵図です。真田氏改易の翌年であることから、城の破却に伴う記録と考えられています。本丸には天守櫓・本丸御殿・乾櫓・巽櫓、二の丸には枡形虎口、三の丸には重臣の屋敷が描かれており、真田時代の沼田城の威容をうかがわせます。

沼田城は沼田頭泰により築城されたとされ、はじめ倉内城と呼ばれました。永禄3年(1560)上杉謙信の関東進出以降、上野国のというより北関東の要衝と化し、上杉氏、北条氏、真田氏が激しい争奪戦を繰り広げました。

新治村猿ヶ京区有文書 P8504 No.233